

## 武漢事務所週刊ニュース（2015年2月7日～13日）

### 世界トップ500企業のうち、216社は武漢市で投資

2月8日 楚天都市報

昨日、「家は武漢、情は五洲に満ちる」をテーマにした2015外国人新春祝賀会によると、2014年に世界トップ500社のうち新たな16社が武漢でオフィスを設置した。これで今までの200社に加え、計216社に達したことが明らかになった。

2014年、武漢市の国内総生産、工業増加値、固定資産投資などの上昇率は副省級都市の中でトップになった。武漢の高度経済成長実績や優れた位置条件、人材に興味を持った世界トップ企業は、中国中西部市場を開拓するための第一歩として武漢を選んだ。2014年上海GM社やレノボなどの世界トップ500社は、次々と武漢で新事業を開始し、東風レノーなどの五つの事業の投資額は50億元（約1兆円 1元=20円で計算、以下同様）を超えた。武漢で新たに加えられた世界トップ500社は、日本の三井住友フィナンシャルグループやフランスの安盛グループ、アメリカのThe Walt Disney Company, TWDC社など16社で、昨年末までに216社に達しており、中国中部の中でトップとなった。

初乗り 10 元(約 200 円)になったタクシーが半数以上

2 月 9 日 楚天都市報

昨日、武漢市旅客運輸タクシー管理处によると、大通、華昌、国興、聯海などのタクシー会社は、タクシーメーターの調整を終了させた。約半数以上の 7500 台のタクシーは新運賃の切り替えが行われ、初乗り運賃を 10 元(約 200 円)に引き上げた。

愛麗舎、凱旋の 2 車種の初乗り運賃は 10 元(約 200 円)となった。愛麗舎は 3 km まで 10 元(約 200 円)、以後 1 km ごとに 1.8 元(約 36 円)となる。一方、凱旋は 2 km まで 10 元(約 200 円)、以後 1 km ごとに 2 元(約 40 円)となる。